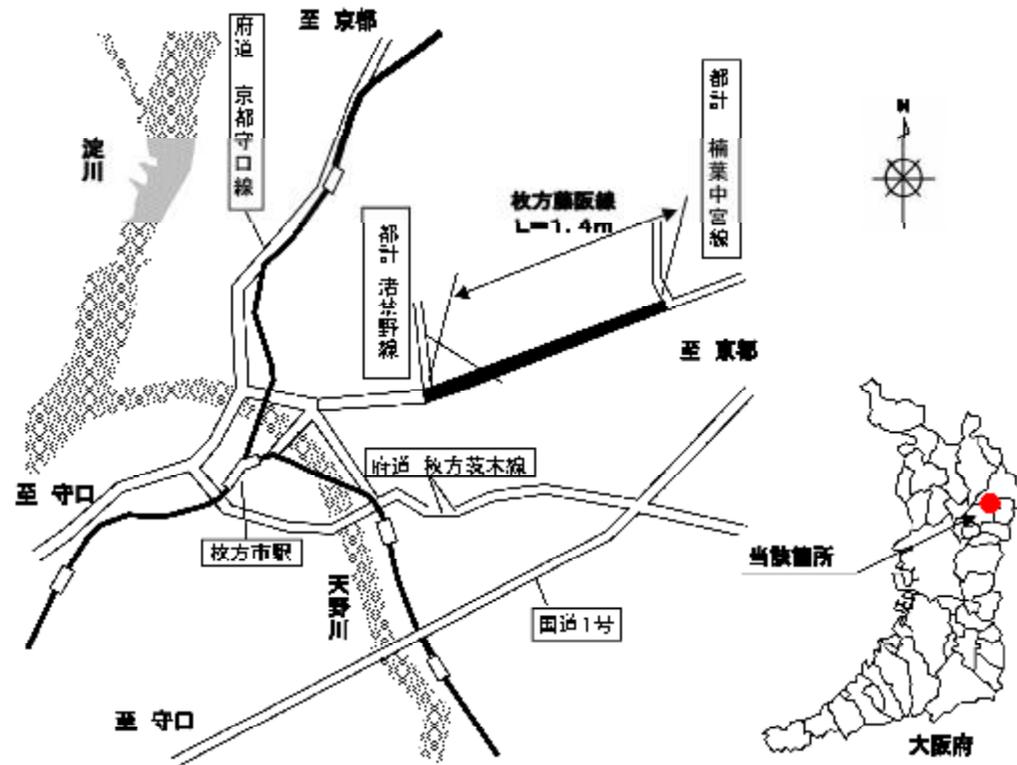


事後評価点検表

| | |
|-----------------|---|
| 事業名 | 都市計画道路 枚方藤阪線整備事業 |
| 担当部署 | 都市整備部交通道路室道路整備課街路建設グループ（連絡先 06-6994-9280） |
| 事業箇所 | 枚方市中宮本町、中宮北町、中宮東之町、甲斐田東町、甲斐東新町地内 |
| 内容 | 枚方市中央部を東西に結ぶ幹線道路であり、枚方中心部における交通渋滞緩和と交通安全対策を目的とし、現道拡幅を行うものである。 |
| 関連事業とその現状 | 関連事業の第二京阪道路については平成 21 年度に全線開通している。 |
| 社会経済情勢の変化 | <p>【交通量の変化】</p> <p>府道杉田口禁野線</p> <p>最終評価時 19,639 台/日 (H11 センサス)</p> <p>完成時 14,378 台/日 (H22 センサス)</p> <p>【混雑度の変化】</p> <p>府道杉田口禁野線</p> <p>最終評価時 1.11 (H11 センサス)</p> <p>完成時 0.90 (H22 センサス)</p> <p>【事故件数の変化】</p> <p>H3 年～H7 年の 5 年間：40 件 H20 年～H24 年の 5 年間：30 件</p> |
| 事業実施による自然環境の変化 | <ul style="list-style-type: none"> 道路の整備により旅行速度が向上し、CO2 の排出量が削減される。 植樹帯の設置により、緑の回復に努める。 |
| 最終評価時の意見具申と府の対応 | <p>【最終評価時の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再々評価対象事業として審議した街路事業の【枚方藤阪線】については、審議の結果、事業のさらなる継続の必要性が認められ、かつ、事業進捗上も特段の支障がないと考えられるため、「事業継続は妥当」と判断する。 用地買収率が 9 割を超えており、投資効果の面からも事業を早期に完成させることが必要である。 <p>【府の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 枚方藤阪線については、『事業継続』とする。 |

| | 【最終評価時点 H15】 | 【完了時点 H19】 | 【分析】 |
|----------------------------------|--|--|--|
| 事業費 | 約 52 億円 | 約 51 億円 | 事業費に特に大きな変化なし |
| ①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度 | ① 18 年 ② 昭和 63 年度 ③ 昭和 63 年度 ④ 平成 17 年度 | ① 20 年 ② 昭和 63 年度 ③ 昭和 63 年度 ④ 平成 19 年度 | 地価下落等の理由から用地買収が難航したことにより、最終評価時点の予定から 2 年遅れて完成。 |
| 定量的効果 (費用便益分析等) | <p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> B/C=1.85 B=約 126 億円 C=約 68 億円 <p>【算出方法】</p> <p>街路事業における費用便益分析マニュアル(案)(建設省都市局街路課作成)により算出</p> <p>【受益者】</p> <p>道路利用者</p> | <p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> B/C=1.76 B=約 118 億円 C=約 67 億円 <p>【算出方法】</p> <p>街路事業における費用便益分析マニュアル(案)(建設省都市局街路課作成)により算出</p> <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同左 | 概ね変化無し。 |
| 定性的効果 | <p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路空間確保によるライフライン導入区間の確保 歩車分離による交通安全機能の向上 <p>【受益者】</p> <p>地域住民、道路利用者、就労者</p> | <p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同左 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同左 | 所期の目的を達している。 |
| その他特記事項 | なし | | |
| 評価結果 | <p>平成19年度に供用しており、現道の杉田口禁野線は整備後の混雑度が改善し、円滑な交通を確保に寄与している。</p> <p>また、当該路線における歩行者の交通事故発生件数は、供用前の5年間（H3年～H7年）の平均が約8件/年であったが、供用後の5年間（H20年～H24年）の平均が約6件/年に減少しており、交通安全性の向上に寄与している。</p> | | |
| 今後の同種事業に対する改善措置等 | なし | | |

[事業箇所図]



[平面図]



[横断図]

